

製品名: ヒストン H4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21614**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:11kD;Observed MW:11kD

抗原情報

遺伝子名	HIST1H4A
別名	HIST1H4A;H4/A;H4FA;HIST1H4B;H4/I;H4FI;HIST1H4C;H4/G;H4FG;HIST1H4D;H4/B;H4FB;HIST1H4E;H4/J;H4FJ;HIST1H4F;H4/C;H4FC;HIST1H4H;H4/H;H4FH;HIST1H4I;H4/M;H4FM;HIST1H4J;H4/E;H4FE;HIST1H4K;H4/D;H4FD;HIST1H4L;H4/K;H4FK
遺伝子 ID	121504;554313;8294;8359;8360;8361;8362;8363;8364;8365;8366;8367;8368;8370
SwissProt ID	P62805
免疫原	ヒトヒストン H4 の合成ペプチド

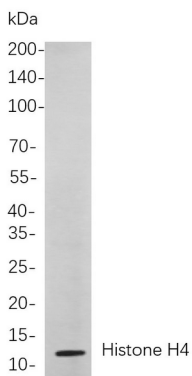
背景

細胞局在: 核。染色体。ヒストンは、真核生物の染色体繊維のヌクレオソーム構造を担う基本的な核タンパク質です。4つのコアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) はそれぞれ2分子ずつ八量体を形成し、その周囲に約146bpのDNAがヌクレオソームと呼ばれる繰り返し単位の巻き付いています。リンカーヒストンであるH1は、ヌクレオソーム間のリンカーDNAと相互作用し、クロマチンを高次構造に凝縮する役割を果たします。この遺伝子はイントロンを含まず、ヒストンH4ファミリーに属する複製依存性ヒストンをコードしています。この遺伝子からの転写産物はポリA末端を持たず、代わりに回文終結配列を含みます。この遺伝子は、染色体6p21.33のヒストンマイクロクラスターに存在します。[RefSeq提供、2015年8月]

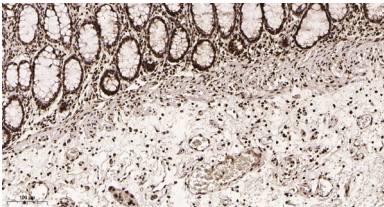
研究分野

-

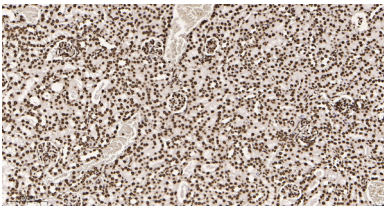
画像データ



ヒストンH4ウサギmAbを用いたHeLa細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学分析。1、ヒストンH4ウサギモノクローナル抗体を1:200に希釈(4°C、一晚)。2、抗体の回復にはEDTA pH 9.0を使用(>98°C、20分)。3、二次抗体を1:200に希釈(室温、30分)。



パラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学分析。1、ヒストンH4ウサギモノクローナル抗体を1:200に希釈(4°C、一晚)。2、抗体の回復にはEDTA pH 9.0を使用(>98°C、20分)。3、二次抗体を1:200に希釈(室温、30分)。



パラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学分析。1、ヒストンH4ウサギモノクローナル抗体を1:200に希釈(4°C、一晚)。2、抗体の回復にはEDTA pH 9.0を使用(>98°C、20分)。3、二次抗体を1:200に希釈(室温、30分)。